

第7回長房中学校区地域づくり推進会議意見まとめ

長房中学校区地域カルテ(案)について

地域カルテ(案)に関する意見等

修正済 × 修正不要 要確認

ページ	項目	修正内容	事務局対応方針
1	長房中学校区の概略	中段 長房小は昭和42年に新たに開校 下段 昭和44年 長房小学校開校 どちらの表記が正しいか。	(昭和44年)
3	四季	4月 長房中学校区周辺のさくら並木に変更。(表紙のさくら並木は南浅川なので)	(写真を校区内のものに変更)
4~6	5)	町会・自治会名のところで長房町中郷町会、中郷町会と2つあるが、長房町を全てカットして中郷町会とする。	×(町自連HPで「長房町中郷町会」とほか、町会の届出も同一の表現となっている)
6	年間行事	3月に「各小中学校入学式」とあるが、卒業式の間違いか。	
5	町会自治会名行事名、場所	11月に「はちゃめちゃハロウィン大冒険(東アパート連絡協議会)」を開催した。初めての試みでひまわりサロン、りんりんクラブなどが協賛で行い、総勢100名以上が参加した。老若男女問わず大盛況だったので、写真を載せてほしい。	
7	1	町会・自治会名のところを長房町中郷町会とする。	
8	学校運営協議会	地域運営学校協議会ではないか(コミュニティスクール)。文章の中の校長や保護者・地域住民の記載は、「校長・地域住民(町会長、保護司、民生委員、議会、青少対、保護者代表(PTA)、商店会等)」で良いのでは。	○(一部修正。「学校運営協議会」が正式のため、地域は未反映)
8	学校運営協議会	二次元コードに「各学運協」という表示があるので、略称として「学運協」を追記したほうが良い。	
8	PTA	「長房小学校と船田小学校は～」の文章は、PTA紹介文として掲載するのは違和感があり、削除が良い。	○
8	PTA	「(会長・副会長・初期・・・) 書記に修正。	
8	PTA	「活動内容」について、これは各校のPTAが共通して担っている活動を記載するイメージで良いか。 そうすると、長房小学校でいえば マチコミ配信 削除(配信は学校側の業務です) ベルマーク仕分け作業 削除(実施していない) ボランティア感謝状作成 削除(実施していない) 活動内容をそのままにする場合は 「活動内容(各校PTAによって一部異なります)」 のような表記にしたほうが良い。	(一部内容を削除し、但し書きを追加)
14	無料塾・居場所	居場所として、「長房中央保育園がりんぶりん広場」とあるが、長房西保育園にも広場がある掲載しないのか。	× (子育て応援サイトに記載がないため)
その他		修正なし。	—
その他		地域カルテについては、飲食店等についても終わった様ですので、全体が出来たと思う。	—

地域固有ページに関する意見等

修正済 × 修正不要 要確認

地域固有ページの掲載内容の検討	事務局対応方針
地域固有ページのテーマ < 歴史 >	
鎌倉街道り、古道橋が中郷地域にはありますが、歴史の詳しい方に聞いたうえで掲載してはどうか。	× (歴史の掲載項目がすでに4項目あるため、次号の更新時に検討)
地域固有ページのテーマ < 飲食店・買い物 >	
観賞用エビ専門「EBINOKAKATO」「鍾」 「エビの秘密基地」 住所:長房町1007 営業日:月・水 13:00~18:00 金・土 13:00~19:00(火、木、日は休業日) 駐車場:2台 TEL:042-673-3826	
前回Zoomで検討が不十分ですが、「以下の視点でお店を選定」の部分は客観的に説得できる視点がほしい。例えば、前回出たお店の隣で畑をつくって食材にしているなどは典型的地産地消。何らかの「地域活性化」を表に出すのが良い。創業が古いのもその一例。あそこのお店は美味しかったでは、単なる宣伝としか捉えられかねない。	
掲載内容 ・ここに注目 ・お店からのメッセージ ・口コミ情報	
○いきいき高齢課で進めている「はちおうじ人生100年サポート企業」の内、高齢者サポート企業がカルテの発行に間に合えば、掲載してはどうか。	× (現状、中学校区よりも広域的な活動している団体等については、「住所地が校区内にある」を基準として整理している)
地域固有ページ全体	
長房地域の魅力づくりあつめ ・なぜ素晴らしいのか、かくれた伝統や特ダネの掘りおこしを行う。	次号の更新時に検討
ビデオの作成。	
写真やイラストの活用。	○
多文化コーナーが必要ではないか。	(飲食店に多文化のお店掲載)

地域資源マップに関する意見等

地域資源マップに掲載したい情報	事務局対応方針
・昭和天皇武蔵野陵だけでなく、大正天皇多摩陵と記載してはどうか。	
・絵地図づくりのエキスパートに協力していただき、ほしいと言われるものをつくり広めたい。	次号の更新時に検討
・セブンイレブンの近くにファミリーマートがあり、追加してはどうか。	表記含めて検討 なお、一旦はAED等があるコンビニの名前を入れて取り上げています
・学童(小学校内、小学校外がある)が掲載されていない。児童館はあるので掲載してはどうか。	
・長房西保育園、白百合幼稚園が載ってない。保育園としての認可があれば、公的な財源で運営されており、保育料も利用者の負担はないはず。公的な地域の資源として載せてもよいのではないか。コピオが載っているの。	
・長房みなみ保育園が載ってない。	
・「カインズホーム」ではなく、「カインズ」ではないのか。	
・提供情報なし。	-

長房中学校区地域づくり推進計画(案)について

地域づくり推進計画(案)に関する意見等

修正済 × 修正不要 要確認

ページ	項目	修正内容	事務局対応方針
目次	文字の大きさ	親しみ易いフォントとし、文字をできる限り大きくできないか。	
	はじめに	カルテには冒頭に“37”の中学校区と記載があるが、計画には記載がない。どのように作成するか。	参加者確認
1	1	「武蔵陵・多摩御陵」となっていますが、多摩御陵の「御」はいるのですか。歴史的には「多摩陵・武蔵陵」と記すべきではないか。	(地域カルテP1概略に正式名称の「武蔵陵墓地(多摩陵・武蔵野陵)」として反映)
1	2	多摩御陵の参道のケヤキ並木ではないか。	
1	自然環境	東浅川 南浅川ではないか。	
1	概略	武蔵陵・多摩御陵 武蔵野陵・多摩陵 又は、武蔵野御陵・多摩御陵(御をつけるなら両方)ではないか。	(正式名称の「武蔵陵墓地(多摩陵・武蔵野陵)」で対応)
1	1	とりわけ船田地域は2000年の昔より石器、鉄器、稲作づくりをしていた史料が発掘保存されている生活文化が進んでいたことで有名である。	(地域カルテP24・25地域固有ページに反映)
1	1	第2次大戦中は900名の生徒がいた陸軍幼年学校が10万坪の広さで広がり、八王子の大空襲の目標の一つとなった。	
1	1	昭和39年の東京オリンピックの際には現在の陵南グラウンドが競輪のトラック競技会場として国際貢献していた。	
1	1	昭和のはじめには京王多摩御陵線が新宿から延伸し多くの都民に親しまれてきた。	
3	人口構成	何年の人口構成か。	(出典年追記)
4	産業	2000年代以降 2000年以降にすべきではないか。(代が入ったら意味が変わってしまう。また、カルテも合わせて修正)	
4	産業	年号を統一してはどうか。昭和37年 (1962)昭和37年 2000年代 (2000)令和12年	
5	5	都営長房西団地と西アパートの自治会の協働で65歳以上の高齢者の見守り、安否確認の活動が活発で安心して住みつける地域として定着している。	
5	青少対ク リーン活動	クリーン活動 各学期に一回(地域活動)を追加。	
5	地域活動	「子どもの放課後デイサービス」を入れてほしい。	○(地域カルテP21障害者福祉施設に反映)
7	3-エ	南浅川橋を追加してはどうか。(はしげたがない橋で有名)	
8	課題	学校(小中)での地域の歴史などを話す時間設定と人材探しを追加してほしい。	
その他		永年お世話になった商店街が全く無視されているのではないか。	(地域カルテP24・25地域固有ページに一部反映)
その他		修正なし。	-

地域施設

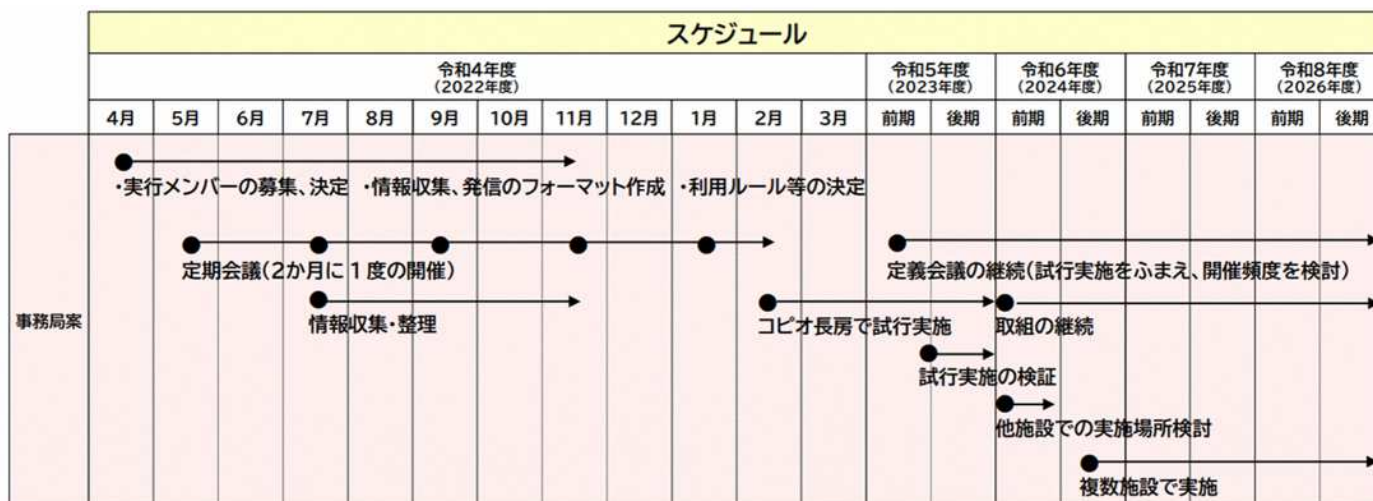
優先的アクションプランの担い手に関する意見等

< 地域施設 >
事務局がどうしても必要。人材、器材、通信手段の用意 永年活躍してきた商店街の声を聞き、地域の交流と新しいイメージの商店街に知恵を交換し合いたい。
外国籍の地域住民を支援する立場から考えた。コピオ長房のコピテラス・情報発信スペースは、とても魅力的である。中心の担い手としては「コミュニティタウン長房」さんに依頼し、NPO団体「エチオピアの多国籍共同体」や、サークル活動のフラダンス、ウクレレ等にも協力を呼びかけ、「世界の料理フェア」を催すのはどうか。

優先的アクションプランのスケジュールに関する意見等

- 事務局案に賛成。
- 会議を進める中で原案を元に決定すれば良い。

< 参考 > 事務局案のスケジュール



SNS

優先的アクションプランの担い手に関する意見等

< SNS >
SNSの講習に法政大学の学生さんが来てくれる事になった(サロン、シニアクラブ)
長房中学校に「魅力発信部」の創設まで検討するなら中学校教員、PTAの参加が必須である。
<p>SNSの担い手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進会議の中にSNSチームを作り担当する。 ・最低2名以上(運営にWチェック必要)。 ・パソコン、スマホは必須。 ・最初は、わかっている人が望ましい。後任は、パソコンができる人材であれば良い。 ・投稿内容にもよるが、写真、画像加工、文章書くのが得意な人、がいるとなお良い。 <p>中心団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSのサービス利用には登録情報なども必要。個人で登録するのは不適切。 ・中心団体はメールアドレスなどを持つ団体。難しい場合は、推進会議が使う最低限の環境整備は必要である。

優先的アクションプランのスケジュールに関する意見等

○4～5月 メンバー決定、(6～8月 地域行事が集中)、10～2月 出来ることからSNS利用
進め、地域・団体の情報マニュアルづくり、周知方法検討、集中的に。

○最初にやること

- ・SNSを活用する目的
- ・ターゲット設定(誰に届けたいか? 若者ってどの年代か? そもそも情報欲しがってるのか?)
- ・取扱情報の拡散範囲(どこまで情報を広げるのか?)
- ・使用するSNSの選定(届けたい人のいるSNSを活用)

○プランニング

- ・大まかなネタ収集(どんな情報があるのか?)
- ・投稿プラン検討、カレンダー作成

○投稿制作

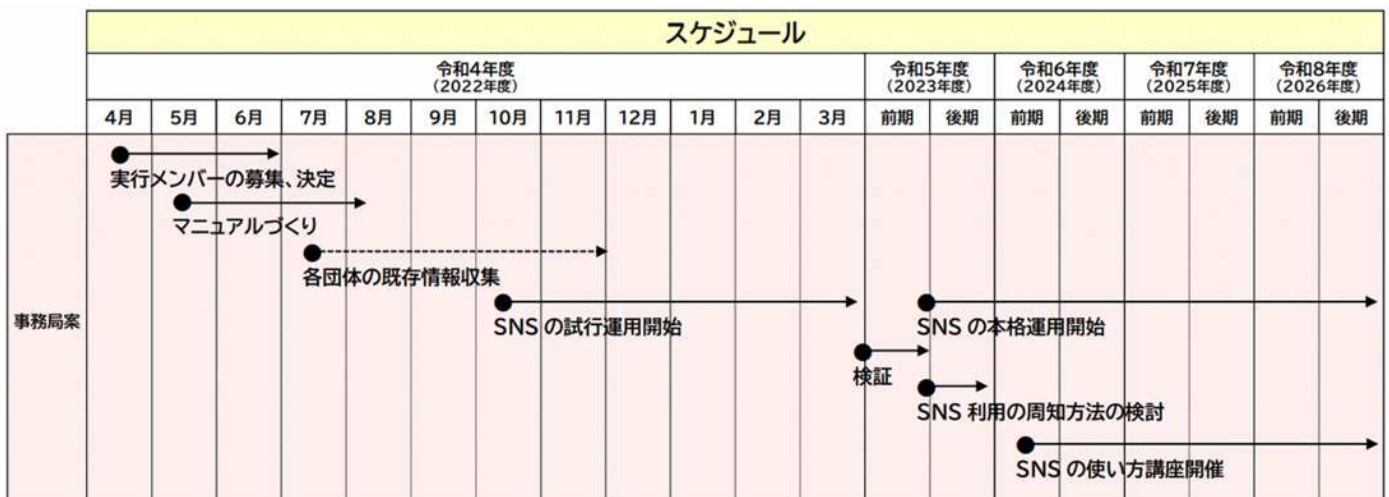
- ・投稿文、画像などの作成
- ・投稿対応

○効果検証

- ・結果確認、改善点検討

○会議を進める中で原案を元に決定すれば良い。

<参考> 事務局案のスケジュール



地域イベント・行事

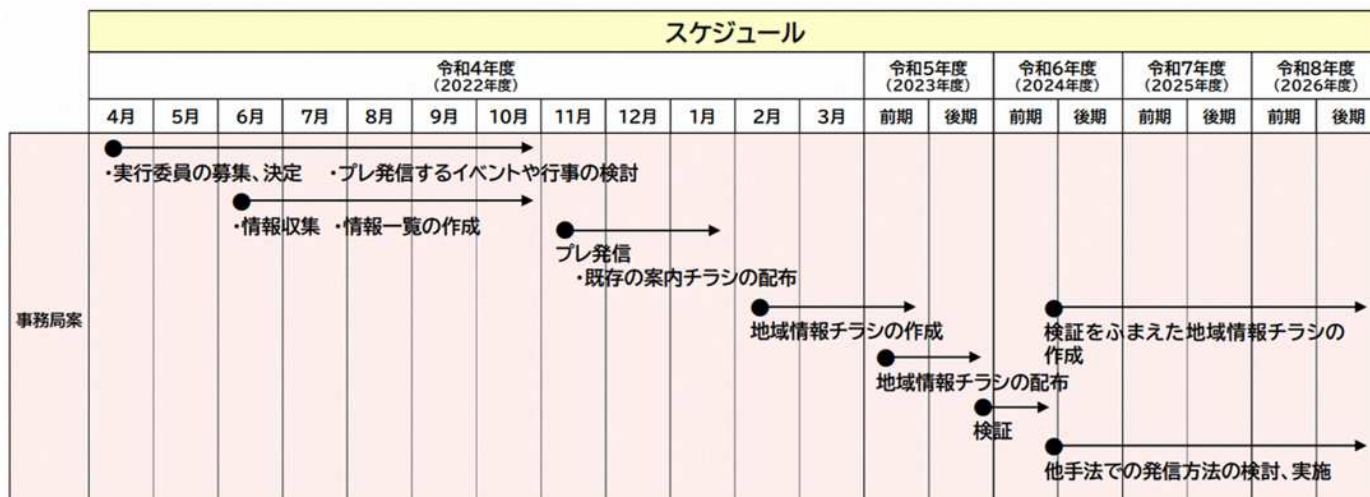
優先的アクションプランの担い手に関する意見等

< 地域イベント・行事 >
地域イベント、行事等の担い手は、1つの団体では難しいため、いくつかの団体協賛で行う必要がある。(例：協議会(自治会)、サロン、シニアクラブ等)

優先的アクションプランのスケジュールに関する意見等

- 4月～8月末までは、地域が最も忙しい。他の仕事がなかなか手につかない。
- 会議を進める中で原案を元に決定すれば良い。

< 参考 > 事務局案のスケジュール



そのほかのアクションプラン全般に関する意見等

アクションプラン全体

優先的ではないが、アクションプラン(地域の担い手の育成)で育成講座の開催計画があるならば、八王子市の事業である市民活動リーダーづくり講座「志民塾」の経験があれば、役に立てるかもしれない。

担い手の育成事例を学び、協力体制の確立を図る。
担い手の育成は定期的・計画的に行う。
組織形体、運用方法など、方向が見えるような形とする。
楽しく出来ることが大切である。

地域活動は地道に小さなことをする(例:お堂や神社の清掃を月1回する。それにより、地域の人脈づくりなどができる)。

- カルテについては、地域フォーラムにおける3名の発表を聞くと、ほぼ完成したと思える。
- 地域フォーラム発表者を中心に部会を設立し、部会を中心に方向性を作成して発表してはどうか。

地域づくり推進事業に関わる意見聴取について

地域づくり推進会議の運営方法等に対するご意見

地域づくり推進会議について

○地域の実情に応じた会議運営をどのようにしていったら良いですか。(例:役員会)

・地区会長、サロン、シニア、子供の代表等、小じんまり型から(月1度位)、行政、生活支援センター、保育園、幼稚園、学校等の代表(PTA)(2~3ヶ月に一度位)

・資金、運用に係る経費がどのような形になるか見えていない

・推進委員を役員会とする。

・コピオの交流場所を使用する。午前ならAM9:00~11:00位

○アクションプランの円滑な検討をどのようにしていったら良いですか。(例:部会)

・民生児童委員協議会のように、子育て、福祉、高齢者、児童、広報、部会を作り1~2ヶ月に一度、情報交換をする(これは例題です)

・部会を頻繁に行い委員間の支援、信頼関係を築くことが第1歩?

・1ページ目に書きましたがSNSでの検討ではまだ関係者不存でアイデアが出ている段階。実行可能かは分科会で関係者が参加しないと進まない。しっかり組織化しないと継続できない。

・部会は3通りの部会とし、フォーラムの担当者に同席していただく。

・コピオの交流場所を使用する。午前ならAM9:00~11:00位

○地域の合意形成をどのようにしていったら良いですか。(例:総会)

・各町会、自治会毎に推進委員達がリーダーを選び後に総会に持って行く。

・各町会、自治会ごとに(代議員のような)委員を決めて、その方々から定期的に意見を聞く。

・地域の交流のセンター的役割をはたしてきた商店街を今回おきざりにして、全く申しわけない気持ち。全国からよい経験を学んで活気的な場所にしたいと願う。

・検討内容をフォーラムに全員参加していただいた人も同席していただき共有してもらおう。

○地域の実情に応じた会議運営をどのようにしていったら良いですか。(例:役員会)

○アクションプランの円滑な検討をどのようにしていったら良いですか。(例:部会)

○地域の合意形成をどのようにしていったら良いですか。(例:総会)

・まず最初に、『地域づくり推進会議』とはどのような位置づけの組織なのかを明確にしておく必要があると思います。私自身がまだこの会議の位置づけが十分理解できていないと感じている。例えば自治体(八王子市)のオフィシャルな会議体なのか、各地域が任意組織として運営していくものなのか、将来的に地域で活動している団体の上部組織になりうる組織なのか、そうでないのか、この組織の活動に人(行政担当者)と金(補助金)がついていくものなのか、そうでないのか、地域づくり基本方針に沿ってこの取り組みが開始されているのは理解していますが、この組織を地域づくりにおいてどのような「役割」と「権限」を持った組織にしたいのか、行政が持っているビジョンをもう少し詳細に示していただけたらと考えている。

・上記を明確にしたうえで、必要に応じてこの会議体の定款を定めるべきだと思う。当然ながら定款にはこの会議体の役割に沿って参加すべき団体(委員)や運営方法(役員会等の開催ルール)、議決権(総会など)を規定する必要があると思う。

・運営に関してですが、現状(今の各団体のマンパワーを踏まえると)地域づくり推進会議の運営(リード)を参加団体のどこかが担うというのは難しいのではというのが率直な意見です。地域づくり推進会議の「役割」と「権限」を決めることで、この会議の運営体制が検討できるものと考えます。それまでは組織のハブになるのは行政側なのではないか。

地域づくり推進会議について

○地域団体の情報共有・連携をどのようにしていったら良いですか。

- ・SNS、又は自治会毎の掲示板に掲示する。
- ・同上に類似して(代議員)を決める方法を検討。
- ・ホームページの開設やSNSの普及。
- ・地域づくり推進会議に参画する団体が発信している情報(例えば会報誌やイベント案内など)を各々が月次単位の投稿できる共有ボックスを作る。この投稿ボックスは市役所管理のイメージ。また、会議体としては地域づくり推進会議を月次開催するなど。
- ・役員会、部会、総会について検討していただく。

○地域全体に対し地域づくりの取組をどのように周知していったら良いですか。

- ・SNS又は各町会の広報、新聞。
- ・チラシをあらゆる方面に配布、保管、補充。
- ・HP
- ・さまざまなイベントに顔を出してチラシを配布。
- ・広報誌の発行、電子掲示板の開発。
- ・地域への周知の前段として、市民(住民)一人一人が自分が居住する地域活動にコミットして、地域活動に参画することの必要性・重要性をもっと上流から広報する必要があると思う。多くの市民は自治体が抱える課題(高齢者・子育て・福祉・教育・防災etc)解決に「地域の力」や「市民の力」が必要だとは思っていない。解決策は自治体の行政が考え、自治体側が与えてくれるものだと思っている。そこには自治体が期待する『地域の力』と「市民の自分事化」には大きな乖離があると思います。この意識の変革は、地域単位で細々とアドボカシーするのではなく、もっと上流から大きな施策をもってアドボカシーすべきではないか。八王子市民一人一人が、自分の住む地域に関心を持つこと、一人一人が社会とつながる組織やその活動に対して参画・協力意識を持つことが結果的には自治体の力を高めていくこと意味をもっと広報すべきと思う。会議に参画しているメンバーはのご時世の中、奉仕の精神で尽力をしている貴重な人材だと思います。この方々に対する協力者を増やすには、各個人の努力に任せるのではなく、もっと大きな力が必要です。それが行政のアドボカシーだと思う。地域活動への参画意義についての広報チラシなどを作成し、広く情報発信することが必要なのではと思う。
- ・役員会、部会、総会について検討していただく。

地域と行政とのつなぎ役について

○地域と行政との連携をより円滑に行うためには、どのようなことが必要ですか。(例:つなぎ役)

- ・長房中学校区(47町会、自治会)からパイプ役を2~3人選ぶ。数が多くなるので、その中から2~3人を選ぶ。
- ・援助費が必要。
- ・東京都の協力を得て、集会施設を有した少々大きな施設の設置と八王子の協力で事務局をかねた要員の常駐に向けた協力を要望したい。
- ・推進会議での話し合いを踏まえて事務局で整理していただき、自分達の住む「我が町・長房」の魅力を再認識しました。粘り強く形にさせていただいた八王子市未来デザイン室の皆様の健闘に感謝申し上げます。同時に「地域づくり」は息の長いものであり、地域住民が無理なく生活に根差した活動を継続していく視点も重要かと改めて感じた。今回の推進会議で一石投じていただいた地域が、私自身も含めて今後息長く活動を定着させていくフェーズに入ったと思う。
- ・地域づくり推進会議に対する記述内容と連動しますが、もし『地域づくり推進会議』が行政に対して地域特有の課題に対する提言・提案・陳情などの窓口組織として位置づけるのであれば、行政との連携が一元管理でき、つなぎ役としてよいのではと思う。また、円滑という意味で思うところとしては、細かな点ですが、地域づくり推進会議という組織の活動が軌道に乗るまでは可能な限り担当者の交代は避けたほうがよい。
- ・全体の代表(1~2名)と部会の代表(1~2名)により連携を取る。

○市職員に期待することはありますか。

- ・町会・自治会員と同じ目線で対応してほしい。
- ・都内の動向、先進的事例の紹介。
- ・要望するための知恵と力をいただきたい。
- ・担当者レベルではなく、部門としての期待です。是非、行政の縦割り感をなくした推進をしていただきたいと思う。未来デザイン室が対象とする『地域』には様々な分野(要素)の課題があり、これは他部門との連携・協働があってこそ部門としての価値が発揮されるのではと推察します。地域団体であってもその視点は一住民としての視点です。地域全体としてはどのような「重要課題」があるのか、またその足かせとなっている「要因は何なのか」は行政が一番情報を持っており、分析ができるはず。縦割りをなくし、行政内で検討をしたうえで、『住民が解決すべき課題は何なのか』を投げかけて欲しい。住民にとってはソフト面(住民が解決すべきもの)とハード面(行政が解決すべきもの)の両輪が走っていないと地域課題の解決の道筋が見えません。縦割りで切り離すのではなく両輪で議論することが地域の持続性の後押しにもなると思う。
- ・資金の提供と担当者を張り付けていただく(2~3名)。また、業者も含めて。

【地域づくり全般について】

位置づけ

現在の構成員でやっていくのか。

長房地域には現在13の町会・自治会があり、それぞれに会長がいます。下部組織として老人会、子ども会(一部ない所もある)等があります。日頃の活動は市との窓口も含め各町会がやっている。

住民協議会には長房町会、長房自治会、船田町会、長房中郷町会、都営長房西団地連合自治会、都営長房西アパート連合自治会、都営長房東団地自治会、都営長房南団地連絡協議会、市営長房台自治会、市営中耐自治会、陵東自治会の11町会が所属している(城山手町会、水崎町会は未加入)。

「地域づくり」で取り上げている課題、推進事項等について異を唱える人はいないと思う。

ただ、推進会議でこうあるべき、やりたいと言っても結局は各町会の理解、協力がないと難しいと思う。

「地域自治」素案はみんなの関心が高いと思う。特に若い世代の人たちへのバトンタッチについては関心が高いと思う。

例示の役員会、部会、総会などに権限はあるのか。

地域と行政とのつなぎ役は現状、これからも市議員にやってもらうのが良い。

そのためにも「推進会議」のあり方はよく考えてほしい。